【手 足 口 病】

手 足 口 病 と は

手のひら・足の裏・口の中に小さな水ぶくれができる病気です。お尻・ひじ・ひざにできることもあります。乳幼児の間で流行します。以前かかった事のあるお子さんでもまたかかる事があります。熱は微熱程度ですみますが、口の中にできた水ぶくれが痛くて食事がとれない事があります。

潜伏期間は3～6日くらいです。

治 療

熱や痛みがある時は症状に応じて薬を処方します。口の中の痛みがひどい場合は感じにくくするうがい薬を処方します。それでも食事がとれない時は、点滴などの処置が必要になる場合があります。

家 庭 で 気 を つ け る こ と

・食事　：口の中が痛い時は、しみるもの（塩辛いもの、すっぱいもの）はやめましょう。
　　熱いもの、固いものは刺激になるので控え、のどごしの良いものにしましょう。

・お風呂：元気にすごせていれば良いです。

登 園・登 校 に つ い て

熱が無く、食欲があれば登園（校）して良いです。

園によって登園の基準が違うことがあるので、園にも確認してください。

再 診 の 目 安

・口の中が痛くて水分をあまりとれない時

・高い熱が5日以上続く時

・吐いて頭を痛がる時

予 防 接 種

予定している予防接種があれば、症状が落ちついてから1週間経過してから受けましょう。

平成30年7月

坂ノ市こどもクリニック